

函館市教育振興審議会令和2年度第1回点検評価部会 会議録

日 時	令和2年6月30日（火） 19:00～19:30
場 所	函館市役所 8階大会議室
出 席 （委員）	花田委員，松浦委員，佐竹(聡)委員，佐竹(卓)委員，干山委員，井上委員，横山委員，竹内委員，太田委員（9名）
（事務局）	瀬戸教育政策推進室長，兵吾主査，木村主事（3名）

1 開会

（部会長）

ただいまから，函館市教育振興審議会令和2年度第1回点検評価部会を開催する。

2 議事

・諮問事項に対する審議について

（部会長）

事務局から，先程受けた諮問の内容について説明願う。

（事務局）

教育委員会の事務の点検および評価の概要，そして本報告書の構成などについてご説明する。

本報告書案の1ページ，2ページをご覧いただきたい。教育委員会の事務の点検および評価は1ページにあるように，法律に基づき実施されるものである。教育委員会は毎年，所管する事務事業について点検および評価を行い，報告書を作成することとなっている。またその際には，学識経験者の知見を活用することとなっており，本市においては，教育振興審議会からいただいたご意見を，本報告書に掲載し，今後の教育施策に反映することとしている。また，完成した報告書は，市議会に提出するとともにホームページへの掲載により公表している。

次に，本報告書案の構成について，目次をご覧いただきたい。報告書案については，大きく2つの項目からなっている。1つ目が教育委員会の活動状況に関する点検・評価である。令和元年度における教育委員会会議の開催状況や教育委員の活動状況などをとりまとめたものとなっており，教育委員会の活動状況について明らかにし，今後の取組の方向を示している。なお，活動状況の詳細については，175ページ以降に掲載しているので，後ほどご覧いただきたい。2つ目は，教育委員会の施策に関する点検・評価である。令和元年度に教育委員会が行った生涯学習から学校教育までの主な取組を教育振興基本計画の施策体系に沿って事業毎に点検・評価シートを作成し，点検・評価している。

11ページをご覧いただきたい。本シートは，具体的な取組結果や，評価の内容が分かりやすく，見やすいこと，いわゆるPDCAサイクルが認識できることを基本とし，教育振興審議会からのご意見を踏まえ，1枚の評価シートで，1つの事業を評価するものとなっている。また，今回から評価の方法がよりわかりやすいもの

となるよう変更をしている。各事業の評価は、その「進捗」、「成果」、「課題」の3つの視点において4段階の評価を行い、その結果を踏まえた総合評価を記載している。総合評価は、3つの視点の合計点で機械的に算出している。

12ページから16ページには、各事業の評価を基本計画の体系に沿って一覧にまとめ、掲載している。

18ページ以降には、各事業の点検・評価シートを掲載している。

本審議会からいただく答申については、173ページ以降に掲載する予定となっている。

・今年度の開催予定について

(部会長)

次に、今後の点検評価部会の予定について説明願う。

(事務局)

点検評価部会については、今回を含めて3回程度の開催を予定している。1回目の今回は、点検評価の方法についての説明となる。2回目では、本日資料として配付している報告書案の内容について、事前に委員の皆様から提出いただくご意見に対して意見交換をしていただく予定となっている。3回目は、2回目の審議結果をとりまとめた答申案について書面にて審議いただく予定である。なお、2回目の点検評価部会においては、皆様からご意見をいただくことになるが、その会議内だけで、本報告書案の全ての項目を網羅することはなかなか難しいと考えているため、一定の期間で報告書案を読み進めていただき、その内容に対する意見や、疑問・確認したい点などについて、別紙の「点検評価に対する意見等について」もしくは任意の様式でも構わないので、ご記載いただき、教育委員会へメールやファックス等により7月14日までにお送りいただくようよろしくお願いしたい。

2回目の点検評価部会では、委員の皆様から出された意見や疑問点等についてのとりまとめ結果を委員の皆様で共有しながら、審議を進めていきたいと考えている。資料2は、去年の点検評価部会の委員の皆様から事前にいただいたご意見を取りまとめたものであり、2回目の点検評価部会では、今回も同様に、資料2のように意見を取りまとめた資料をもとに意見交換を行う予定である。その後、資料2をもとに概要を資料1のように答申の別紙としてまとめていきたいと考えている。

(部会長)

諮問事項の内容と今後の点検評価部会の予定について、事務局から説明があった。各委員においては、本報告書案を読み進めていただき、別紙に意見を記入いただき提出してもらうことになる。その際には、各委員とのやりとりはあるのか。

(事務局)

まずは7月14日までに各委員から事務局までご意見を提出いただき、こちらで資料2のような形にとりまとめる。2回目の点検評価部会では、とりまとめたものをお示しし、意見交換をいただくことになる。あわせて資料1の別紙の形もあらかじめこちらで作成しておくので、整合性や表現の仕方、加筆することなどについて意見交換をいただくことを考えている。

(部会長)

まずは、7月14日までに各委員から意見を出し、そこから次の段階ということである。事務局から説明のあった内容について、委員の皆様から質問などがあればお願いしたい。

(A委員)

別紙の意見の提出様式を後ほどメールで送っていただけるか。

(事務局)

了解した。

(部会長)

メールでも手書きでもどちらでもよいということでしょうか。

(事務局)

どちらでも構わない。様式は委員の皆様にもメールにて送付させていただく。

(部会長)

その他、質問はあるか。

(B委員)

改めて伺うが、意見を出す際は、例えば、何年も継続してやっている中での視点の意見を出すのか、今年度に限った部分について質問、意見をするのか。

(事務局)

それは委員の皆様のご視点にお任せしたい。確かに、長い目を見たときに何も変わっていないので、これでよいのかという意見や、去年新たに実施したものについて良かった、悪かった、などあると思う。まずは率直なご意見をいただきたい。

(B委員)

なぜこのような質問をしたかという点、学校などで今回、新型コロナウイルス感染症への対応のためにさまざまなものが無くなったり、行事ができなかったり、子どもたちの生活様式が変わってきている部分があるので、今後もこの状態が続くだろうという視点の意見でよいのか、または、今回は特別な生活様式として捉え、いずれもとに戻るといった視点でよいのか。どちらの視点がよいのかと聞いていた。いずれにせよ、今我々が思っている考えを出せばいいということでしょうか。

(事務局)

まずは、率直に感じたことを出していただければと思う。また、そういった点については、2回目の点検評価部会において意見交換の中で深めていただくとよいかなと思う。

(部会長)

今回は昨年度の事務の点検評価であるが、私もB委員がおっしゃったように、新型コロナウイルス感染症に関わる視点の意見が多く出てくるだろうと考えていた。そのあたり、委員の皆様にも自由にご意見を書いていただいて、2回目の点検評価部会で議論を進めたいと考えている。その他、質問はあるか。

(委員)

—特になし—

(部会長)

今後、本報告書案を読み進めていくにあたり、基本的には全委員が全部を一通り見て自分の考えを出すことになると思うが、大まかな役割分担ということができないかと考えている。大きく学校教育と生涯教育、あるいは社会教育と分かれています、それぞれの専門や立場から、主に見る部分を決めるのはいかがか。

(C委員)

昨年もそのような形で進めたように記憶している。

(部会長)

昨年は、学校教育と生涯教育の大きく2つ、またはさらに細かく分けられていたか。

(B委員)

大きく分けて、学校現場の方々は学校教育分野を、社会教育関係の方々は社会教育分野を、というように昨年は分けたように思うが、結局自分是一通り見た。気になるころがあれば、見て意見を書くということでもいいと思う。

(部会長)

私は、部会長として全部見ようとは思っているが、どうしても自分が知っている分野、知らない分野があり、意見が厚くなったり薄くなったりする部分あると思うが、皆さんで意見を出し合うと中身の濃いものができると思う。では、きっちりとした役割分担ではないが、大きく学校教育、社会教育といった分け方で昨年の取組を確認していく、評価していくということを進めたい。よろしいだろうか。

(委員)

—異議なし—

(部会長)

それでは、そのような形で今年度進めていきたい。事務局からその点について何かあるか。

(事務局)

資料2は去年の意見のまとめとなっている。今回ご意見を出す際も参考になると思うので、ご覧いただきたい。長文の意見もあるが、短くて構わないので、ご自身で気になった部分について、率直にご意見を出していただければと思う。

(部会長)

次回以降の日程について、事務局から説明願う。

(事務局)

次回以降の日程については、まずは7月14日までにご意見をいただき、こちらでのとりまとめ状況を見ながら、改めて日程調整をさせていただき、ご案内したいと考えている。

(部会長)

最後に、委員の皆様から全体を通してご質問、ご意見などがあればお願いしたい。

(委員)

—特になし—

(部会長)

それでは、7月14日までに各自ご意見を提出いただければと思う。その後、日程調整の上で、事務局から第2回の案内があるので、お集まりいただければと思う。

3 閉会

(部会長)

これをもって第1回の点検評価部会を終了する。